

# TAKAYOSHI

## 株式会社タカヨシホールディングス

2026年9月期 第1四半期決算説明資料

2026年2月10日





# 1.2026年9月期 第1四半期 決算ハイライト

## 業績サマリー（第1四半期連結累計期間）

### 営業収益

前年同期比

業績予想進捗率

**2,029**百万円

△**1.7%**

**26.0%**

### 営業利益

前年同期比

業績予想進捗率

**273**百万円

+**31.5%**

**27.3%**

営業収益、  
営業利益共に  
業績予想を  
上回る実績で推移

## 主要な経営指標（KPI）

### 流通総額

**6,548**百万円

（前年同期比△7.3%）

### 店舗数

**189**店舗

（前期末より±0店舗）

### 登録生産者数

**34,389**件

（前期末より483件増）

## 通期業績予想における進捗は、順調に推移

出店の再加速を進めた結果、業績予想に対する進捗は概ね順調に推移。  
一方、流通総額につきましては前年同期比で縮小しているが、これは主に総店舗数の減少(△3店舗)に加え、新フォーマット店舗を面積を抑えた小型店として展開しており、1店舗当たりの売上規模を相対的に小さく想定していることによる影響である。

(単位：百万円)

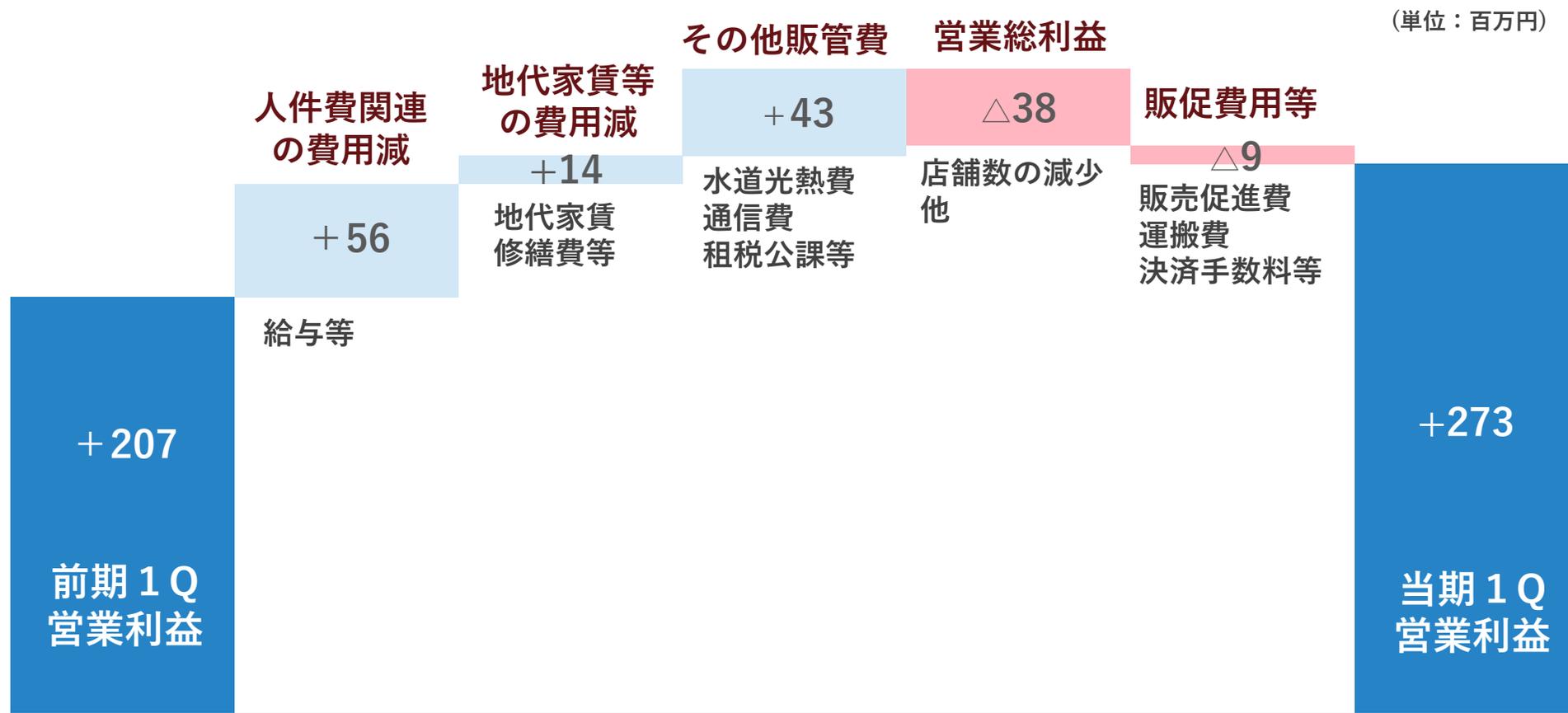
	2025/9期 1Q実績	2026/9期 1Q実績	変動率	通期業績予想	進捗率
流通総額	7,065	6,548	△7.3%	26,200	25.0%
営業収益	2,064	2,029	△1.7%	7,800	26.0%
営業利益	207	273	+31.5%	1,000	27.3%
経常利益	203	272	+33.6%	970	28.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	70	160	+128.8%	520	30.9%

## PL前期比較

(単位：百万円)

	2025/9期 1Q実績	2026/9期 1Q実績	増減	変動率	主な理由
流通総額	7,065	6,548	△ 517	△ 7.3%	・店舗数の減少（前1Q末と比較し、3店舗の減少）
営業収益	2,064	2,029	△ 35	△ 1.7%	・利益率の改善
売上総利益	1,895	1,860	△ 35	△ 1.8%	
売上総利益率 (流通総額ベース)	26.1%	27.7%	+1.6pt	-	
販管費合計	1,743	1,639	△ 104	△ 4.5%	・人件費等の減少 ・売上に付随する費用の減少(家賃等)
営業利益	207	273	+65	+31.5%	・販管費の減少
営業利益率 (流通総額ベース)	2.9%	4.2%	+1.3pt	-	
経常利益	203	272	+69	+33.6%	
税引前当期純利益	120	247	+127	+49.5%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	70	160	+90	+128.8%	

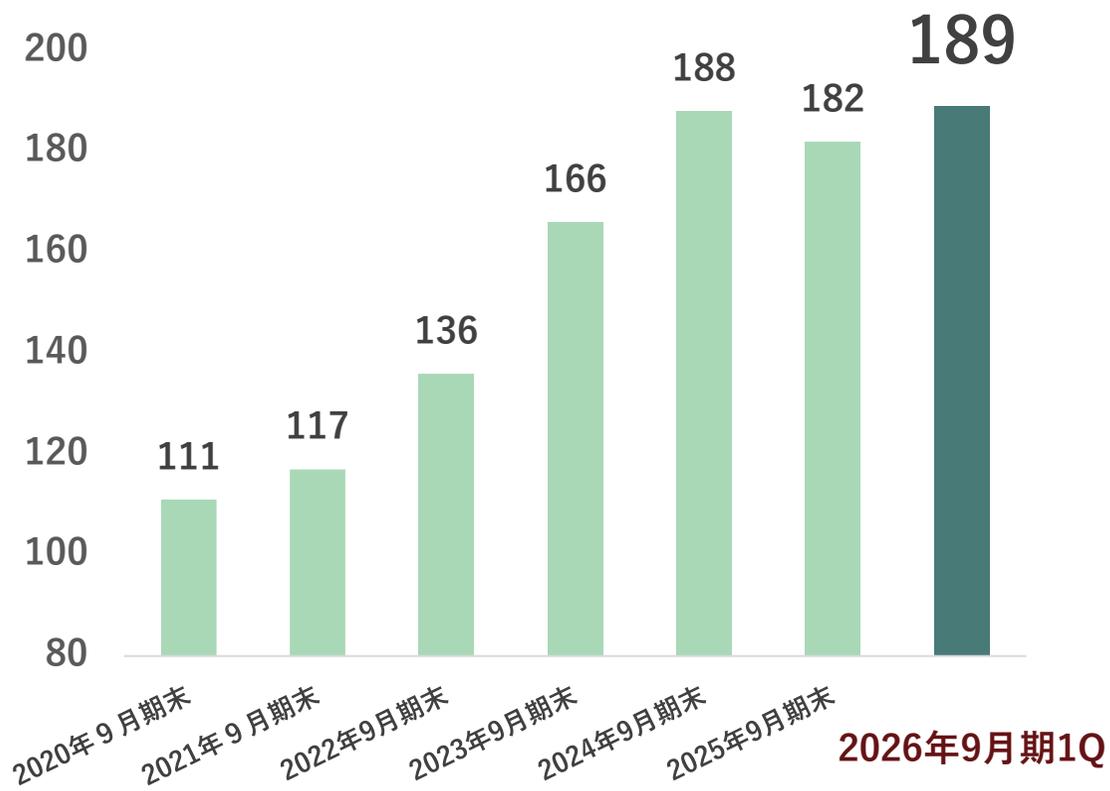
営業総利益が減少する一方、  
販管費の見直しによる利益改善。



## 店舗数の推移

# 13店舗を新たに出店し、 今期目標30店に向け、順調に推移

(単位：店)



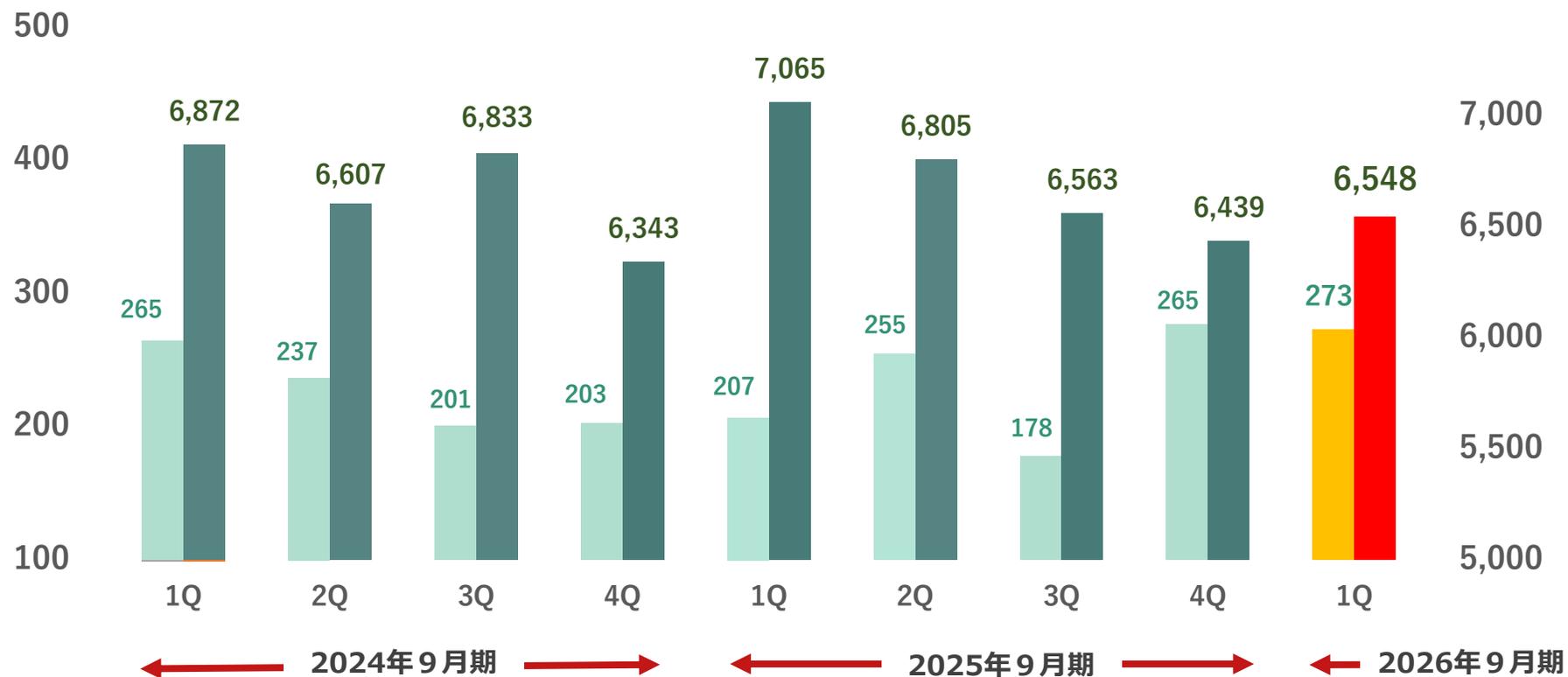
地域	当期出店数	当期閉店数	店舗数
北海道	1店舗	1店舗	3店舗
東北地方	—	—	3店舗
関東地方	11店舗	4店舗	114店舗
中部地方	1店舗	1店舗	33店舗
近畿地方	—	—	18店舗
中国・四国地方	—	—	8店舗
九州地方	—	—	10店舗
合計	13店舗	6店舗	189店舗

2026年9月期 1Q実績	2026年9月期 達成目標	進捗率
13店	30店	43%

# 四半期ごとの流通総額と営業利益の推移

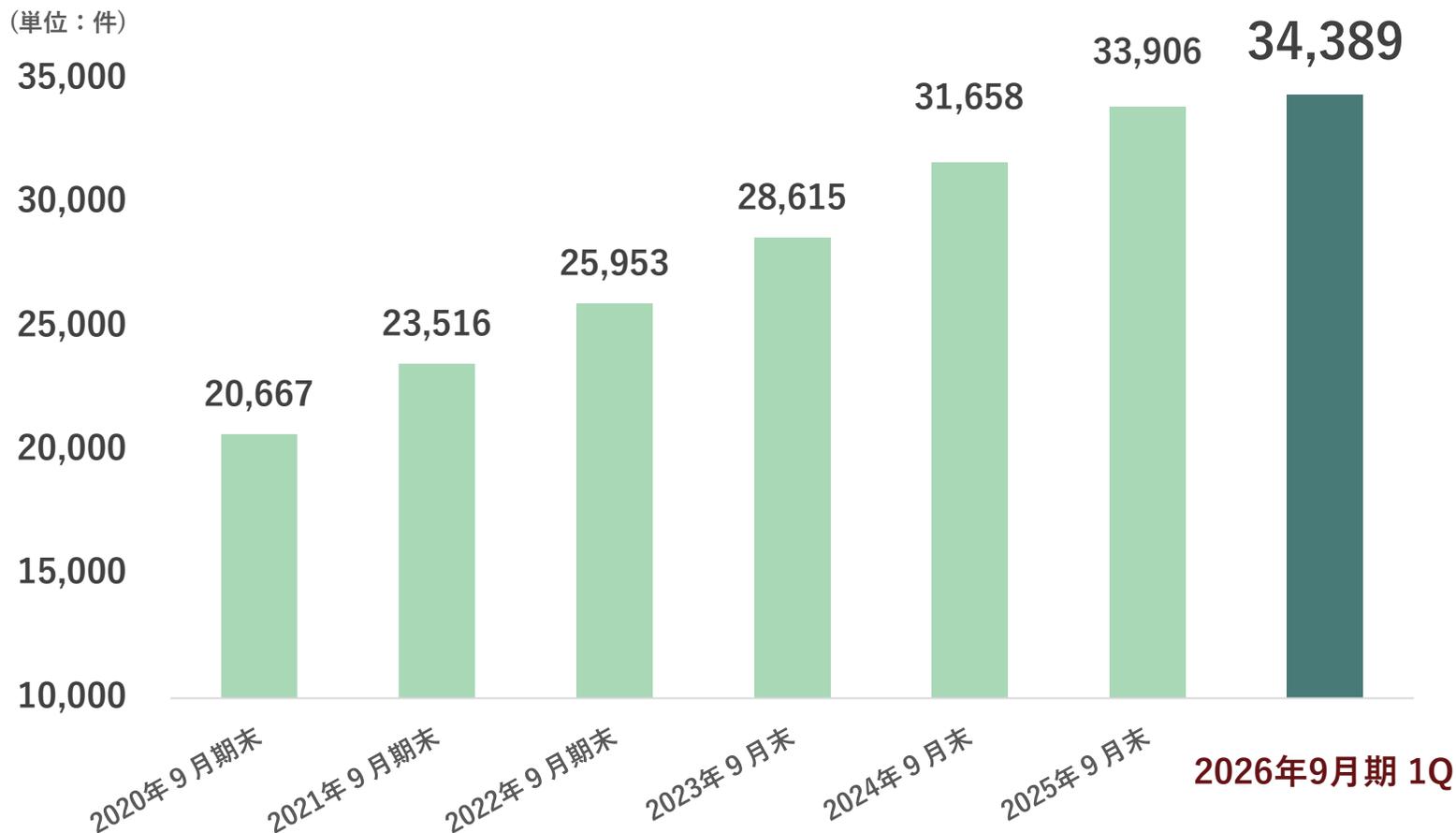
営業利益 (左グラフ)  
単位：百万円

流通総額 (右グラフ)  
単位：百万円



## 累計登録生産者数の推移

新規出店に伴う生産者開拓と並行して、  
既存店舗の追加開拓も推進し、累計登録者は順調に推移



登録生産者数：「わくわく広場直売所会」へ登録された生産者の各期末時点の件数

# 新規出店の実績

-店舗網の着実な拡大-

今期 新規出店数

**13** 店舗



NEW FORMAT

新フォーマット店舗

**10** 店舗



商業施設店舗

**3** 店舗



2025.10.27 OPEN

仙川店



2025.10.27 OPEN

札幌円山店



2025.10.17 OPEN

横浜四季の森フォレオ店

- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としています。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合があります。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますので、当社として、必ずしも達成を約束するものではありませんが、事業計画を見直した場合など、記載内容に重要な変更が生じた場合には、速やかにその内容について開示いたします。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料・データの無断転用はご遠慮ください。
- 事業計画及び成長可能性に関する事項のアップデートは各事業年度ごとに、本決算後12月頃迄を目途として開示を行う予定です。